

当社グループの存在意義 | Purpose

世界中にあらゆる 人が活きるカタチを 創造することで、 人々の幸せと社会の 持続的発展を実現する

世界中の人々が、より活き活きと活躍し生活できれば この世界はもっと幸せにあふれ、発展し、よりよい世界になっていく。 私たちの使命は、そんな生きやすく活力あふれた社会を 創っていくことです。



人材教育セグメント

「働く」カタチ

あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し活き活きと働く喜びを感じてもらうとともに教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し人の可能性を開花させることで産業の発展に貢献する



不動産セグメント

[まちづくり]のカタチ

人が生活する上での基本となる 快適な「街」をデザインすることで 活き活きと生きられる環境を提供し 自然環境・地球資源を大切にした まちづくりで社会に貢献する



人が活きる カタチ



情報通信セグメント

「便利と安心安全」のカタチ

新たに登場する[IT]インフラを世に普及し 人々に便利さを広めることで 安心安全な生活を送れる環境を創り 社会の豊かさに貢献する



農業公園セグメント

「未来」のカタチ

自然環境・地球資源を大切にするとともに 未来を担う子供たちの「成長」に必要な 育成環境を提供することで 社会の持続的発展を下支えする



トップインタビュー

人を起点につながる多様な事業展開で 社会課題の解決に取り組んでまいります。

存在意義を明確に再定義し、「中期経営計画2026」をスタートするワールドホールディングスグループ。 事業を通じて人々の幸せと社会の持続的発展に挑戦する新たな取り組みについて、 代表取締役会長兼社長の伊井田栄吉に聞きました。

代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉

2021年12月期:事業活動の概況

コロナ禍により、2021年12月期も総じて厳しい経済環境下にありましたが、戦略的に推し進めてきた事業ポートフォリオによる安定経営体制に加え、特に基幹ビジネスである人材・教育ビジネスが好調でグループ全体を牽引し、連結売上高・営業利益・経常利益が過去最高を更新いたしました。以下に、主な事業活動の概況をご報告いたします。

人材・教育ビジネス

ものづくり領域では、当社が従前から注力してきた 半導体関連が好調で、一昨年からのコロナ禍の混沌の 中でも雇用の維持を最優先し人材育成を進めてきたこ となどが奏功し、その後の大口オーダーにも迅速に対 応できたことから好調に推移することができました。

また、新たな部分としては、コロナ禍の影響で生産

量、販売量ともに前年を大きく下回った自動車業界において人材業界の再編が進む中、回復需要を派遣契約で取り込み、力強い受注につなげることもできました。

サービス領域では、新拠点開拓などにより、強みである物流関連が引き続き大きく伸長いたしました。また、コロナ関連やオリンピック関連特需、年末繁忙需要なども確実に取り込み、業績の底上げにつながりました。

不動産ビジネス

想定以上に長引く不動産市況の高止まり環境の中で、適正規模の範囲内で慎重に事業を進めてまいりました。

仕入面では、不動産M&A手法を駆使した新たな取り組みを開始いたしました。昨今、コロナ禍により将来に不安を持つ経営者による事業継承問題が増えて



おります。経営者の一番の悩みは、事業継承後の従業員をいかに守るかにあります。また、これら案件の中には、不動産を含めての売却も少なくありません。こういった複合的なニーズに対し、当社グループでは、不動産売却への対応に加え、従業員を当社の社員として迎え入れ適材適所の仕事を提供することができます。これは不動産会社単独、人材サービス会社単独ではできないことで、当社グループならではのビジネス間連携の強みが発揮できるようになってきたと考えております。

「中期経営計画2021」の振り返り

当社グループは、かつてリーマンショック以降の数年間で売上規模がほぼ倍になる成長を遂げましたが、さらなる成長に向けての体制づくりが必要との課題認識がありました。このため、当中期経営計画の策定に当たっては、前半の2期は拡大路線をとらずに事業体制強化を推進し、後半の3期でアクセルを踏んで成長軌道に乗せようと考えておりました。

しかし実際の後半3期は、想定以上のカネ余り現象によるM&A市場と不動産市況のバブルが継続し、かつ2020年以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が社会に大きな変化をもたらしました。この流れを受け、当社は過剰な拡大をせずに、経済の流れをじっくり見据える方向に舵をとりました。

過剰な拡大をしないという方針の中で、無理な

M&Aを抑えたことや不動産ビジネスを慎重に進めたことなどから当初の計画は未達となりましたが、前述のように基幹ビジネスである人材・教育ビジネスを力強く成長させることができ、このような未曽有の状況下においても自力成長で過去最高の売上高・営業利益・経常利益を更新することができました。

「中期経営計画2026」に込めた想い

※詳細は、P.5-6の「中期経営計画2026」をご参照ください。

2022年12月期を初年度とする新たな中期経営計画では、さらなる高い成長を目指しています。中でも、人材・教育ビジネスを大きく成長させる計画です。

人材業界を取り巻く環境は大きく変化しております。外部活用化が進む企業ニーズ、メンバーシップ型からジョブ型に変化する雇用形態、働く人々の志向の多様化、そして日本におけるサービス業の比重増など、これらの様々な課題がありますが、働く人々を適材適所に流動化できる人材業界の社会的役割がますます大きくなっていると考えています。

人材会社として教育への一層の注力

終身雇用の時代には、事業を営む企業が人材教育をしっかりと担っておりましたが、働き方の多様化が進む中でその傾向は薄れてきたように思います。1993年の当社設立以来、私はこの事業を「人材ビジネス」ではなく、「人材"教育"ビジネス」という名を掲

げてまいりました。事業会社に代わって、人材会社が 働く人々の教育や育成、スキルアップを担う時代が 来ると考えていたからです。新中期経営計画では、教 育に一層注力していきたいと考えています。

さらなる幅広いフィールドをカバー

当社は設立以来、ものづくり領域に焦点を合わせ成長してまいりましたが、様々な社会的課題に対し、サービス領域をもう一つの柱として成長させることで、その課題解決に取り組んでいきたいと考えております。また、ものづくり領域の市場規模3.5兆円に対し、サービス領域のそれは6.5兆円と言われており、非常に大きなポテンシャルを秘めています。

"人が活きるカタチの創造"を掲げる人材会社として、様々な企業ニーズに応えるとともに、さらなる多くの人々が活躍できる場を創り、人々の幸せと社会の持続的発展に貢献してまいります。

戦略に基づくセグメント区分の変更

※詳細は、P.6「セグメント変更のお知らせ」をご参照ください。

人材教育セグメントを、前述の戦略に基づき、ものづくり領域「プロダクツHR事業」と、サービス領域「サービスHR事業」としました。この二つの柱でさらなる成長を図っていく考えです。

また、百貨店業界で培ってきた接客販売分野のノウハウを強みに、高いホスピタリティ力を活かした 接客人材の派遣・紹介などを行ってきた株式会社 ディンプルを2022年2月末にグループに迎え入れました。「サービスHR事業」の中核事業会社の一社として、同領域のさらなる成長を期待しております。

ステークホルダーの皆様へ

当社グループは従前から安定経営を図るため幅広い領域で事業展開を行ってまいりました。人材教育、不動産、情報通信、農業公園等、多種多様な事業が存在しますが、これらは全て「人が活きるカタチを創造し、人々の幸せと社会の持続的発展を実現する」という想いのもとにつながっています。「働くカタチ」、「まちづくりのカタチ」「便利と安心安全のカタチ」「未来のカタチ」、それぞれ人が起点としてつながる様々な事業を通じて社会に貢献していきたいと考えております。

今後とも、多様な"人が活きるカタチ"を提案できる企業グループとして社会課題に取り組んでまいります。ステークホルダーの皆様におかれましては、これからの当社グループを変わらずご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

決算サマリー

売上高 営業利益 経常利益 154,704 百万円 7,481 百万円 **7,738** 百万円 7.8% 前期比 19.7% 前期比 14.0% 前期比 143,571 154,704 168,828 7,738 7,481 6,786 6.251 6.244 6,053 21/12 月期 22/12 月期(予想) 20/12 20/12 21/12 22/12 20/12 21/12 22/12

連結キャッシュ・フロー (雨万円) 配当金

現金及び

同等物の

30.748



親会社株主に帰属する

4,626 百万円

4,626

3.862

22/12 月期(予想)

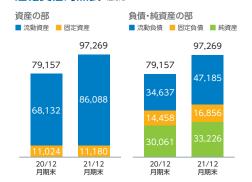
当期純利益

前期比 21.8%

20/12 21/12 月期 月期

5.913

連結貸借対照表 (西河)



2021年12月期 連結業績概要

		2021年12月期(予算)		2021年12月期			
		予算(百万円)	利益率(%)	実績(百万円)	利益率(%)	前期比(%)	対予算(%)
人は、物容がジラフ	売上高	101,940		104,487		+25.7	+2.5
人材・教育ビジネス	セグメント利益	6,675	6.5	7,104	6.8	+28.8	+6.4
不動産ビジネス	売上高	36,509		36,977		△23.1	+1.3
个割圧しノイス	セグメント利益	2,915	8.0	2,977	8.1	△16.1	+2.1
情報通信ビジネス	売上高	9,338		9,367		+2.6	+0.3
月秋週后レクイス	セグメント利益	104	1.1	118	1.3	△50.8	+13.8
その他	売上高	3,567		3,872		+20.5	+8.6
ての旧	セグメント利益	△112	_	6	0.2	_	_
	売上高	151,354		154,704		+7.8	+2.2
合 計	消去又は全社	△2,265		△2,724		_	_
	営業利益	7,316	4.8	7,481	4.8	+19.7	+2.3

現金及び

現金同等物の

期首残高

22.817

投資活動

によるCF

営業活動

によるCF

1,370

△1.782

21/12

財務活動

によるCF

7,990

中期経営計画

2026

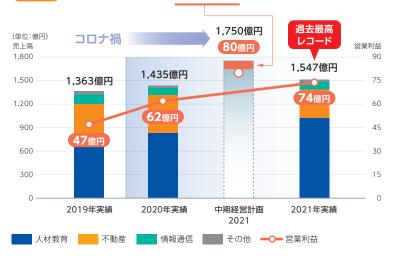
前中期経営計画の振り返り

2021年12月期までをカバーする5ヵ年の「中期経営計画2021」においては、想定以上のカネ余り現象をリスクと捉え、計画を適宜見直しながら拡大路線よりも堅実な成長に舵を切り、M&Aによる拡大に頼らず、自力成長による安定基盤の構築を進めてまいりました。

コロナ禍においても着実な成長を続け 過去最高の売上高・営業利益を更新

人材教育ビジネスにおいて、計画を変更し、<mark>社員の人材育成</mark>に注力・ 教育投資を行ったことで計画比で利益減となった

不動産ビジネスにおいて、不動産バブルが想定以上に続き 慎重に進めたこと、及び<mark>子会社売却等</mark>により計画比で売上減となった



「中期経営計画2026」の概要

Create a Sustainable World.

Create a Sustainable World.は、その名の通り「持続可能な世界を創っていくこと」を目的としていることと、「ワールドホールディングスグループが永続的な存在として持続していく礎を創る5年間とする|意味を込めて名付けられました。

本中期経営計画では、基幹ビジネスである人材・教育ビジネスをさらに加速度的に成長させ、不動産ビジネス、情報通信ビジネス、農業公園ビジネスの4つのビジネスから成るバランスの取れた事業ポートフォリオにより、高い成長を実現し、持続的な世界を創造いたします。

全体戦略



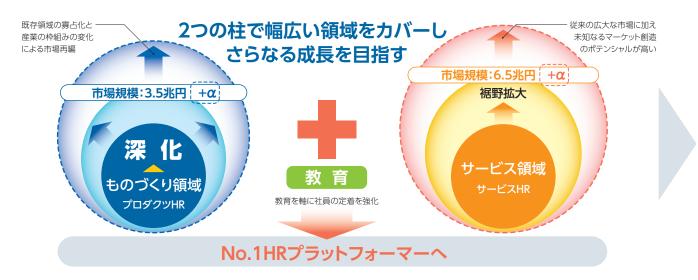






人材教育ビジネスの戦略

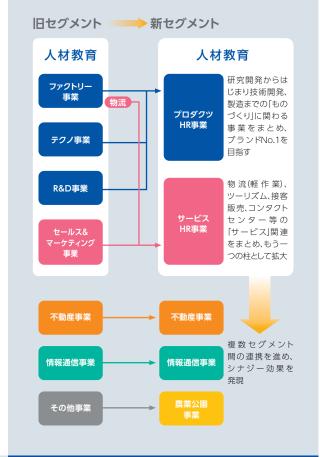
人材教育ビジネスの従来の主力領域であった「ものづくり領域」に加え、広大なマーケットを抱える「サービス領域」に本格的に参入し、人材教育ビジネスの加速度的な成長に挑戦いたします。



セグメント変更のお知らせ

「中期経営計画2026」の戦略に基づき、セグメント変更を行います。人材教育ビジネスを「プロダクツHR事業(ものづくり領域)」「サービスHR事業(サービス領域)」の2つの柱とし、さらなる成長を図ってまいります。

戦略に基づくセグメント区分の変更





人材・教育ビジネス

事業紹介

研究・設計・製造といった"ものづくり分野"における上流工程から下流工程、さらには物流・販売・ コールセンターといった"サービス分野"までも幅広くカバーした「業務請負・人材派遣|等の人材サービ スを展開しています。これらの分野をシームレスに連携させることで、企業の幅広いニーズに応えるとと もに、働く人には、多くのスキルアップ・キャリアアップの可能性を提供しています。



売上高

売上高

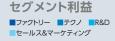
104,487 вън 25.7% **7,104** вън 28.8% **1**







■ファクトリー ■テクノ ■R&D





在籍数(3カ月平均)の推移(約)



■ 主力のファクトリー事業とセールス&マーケティ ング事業で大幅に増員しました。

- ◎5G関連が好調で半導体・機械分野での在籍数 も増加
- ◎物流分野での新拠点開拓等により在籍数が大 幅に増加
- ◎コロナ・オリンピック関連の需要によりセールス &マーケティングの在籍数も増加

2021年12月期概況



ファクトリー事業

- 戦略的に注力してきた5Gをはじめとする半導体関連が好調に推移し、また自動車関連の オーダー増や物流の新拠点開拓等により、大幅な増収増益となりました。
- コロナ禍においても雇用の維持を最優先に人材育成等を継続した結果、景気回復に伴う各種 オーダー増に対する機動的な対応につながり、増収増益の大きな源泉となりました。



テクノ事業

- 全分野ともコロナショックからの回復基調にある中、特に好調な半導体業界においてファク トリー事業とのシームレスな連携に加え、情報诵信分野でもグループ関連企業との連携によ り受託業務の強化を図りました。
- エンジニアの人材育成によるスキルアップ及び戦略的な配属によるキャリアアップを推進し、 より質の高い技術力の提供を通じて利益率向上を図りました。



R&D事業

主力の研究者派遣部門は、医薬関連のバイオ・化学・分析等各分野とも総じて好調に推移す る中、コロナ関連需要を一部取り込んだことに加え、戦略的に取引分野の拡大等を図ったこ とで過去最高水準でのオーダー獲得につながりました。



セールス&マーケティング事業

- 既存のコンタクトセンター分野や軽作業分野を確実に伸長させたことに加え、コロナ及びオリン ピック関連の特需的要素も取り込み大幅な増収増益となりました。
- 新たにコールセンターの設置や軽作業関連での請負化推進、店舗の販売代行業務請負化、BPO関 連業務の受託を模索するなど業容拡大を図りました。

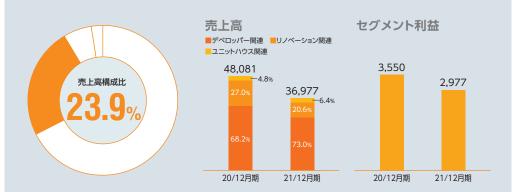


不動産ビジネス

事業紹介

デベロップメント関連、リノベーション関連、ユニットハウス関連などの現物不動産の他、 新たな分野として不動産金融にも注力しており、総合不動産業として幅広い領域で事業を 展開しています。

売上高 セグメント利益 36,977 алн 23.1% роми 2,977 алн 16.1% роми



2021年12月期概況

物件価格の高止まり状況が続く中、計画していた物件の引き渡しを着実に進めるとともに、緻密なマーケ ティングによる営業展開により利益率向上につなげました。仕入面では引き続き慎重に進めながらも、得意 とする事業用地の開発ノウハウと人材・教育ビジネスとのシナジーにより、着実に優良物件を仕入れるな ど次期以降に向けた準備を推進しました。



情報通信ビジネス

事業紹介

モバイルショップ運営を中心に、法人向けソリューションやテレ マーケティングを行っており、モバイルショップでは、SoftBank ショップやauショップ等、地域に密着した店舗展開をしています。

売上高

9,367 вън

売上高構成比 6.1%

セグメント利益

118 _{длн} 50.8%

2021年12月期概況

各通信事業者のオンライン専用新プラン導入等により、業界が再び大きな変革期にある中、優良店 舗網構築のための販売促進施策の実施や人材育成等に投資を行ったため、利益面において一時的 に大幅な減益となりました。



その他事業

事業紹介

全国で13ヵ所の"自然と人と社会の調和"をテーマにした農業 公園施設の運営管理の他、パソコン教室の運営やWEB制作等 を行っています。

売上高

セグメント利益

3,872 _{вън}





2021年12月期概況

農業公園の施設運営管理は、コロナ禍の影響で旗艦施設である大阪府の「堺・緑のミュージアム ハーベストの丘」が春夏の繁忙期に臨時休園を余儀なくされ大きな痛手となりました。しかし、第 4四半期には前年を大幅に上回る来園者数を記録し、順調な回復が続き全体として増収増益とな りました。

ワールドホールディングスのサスティナビリティ

当社は『人が活きるカタチ』を創造し続けることで、人々の幸せと社会の持続的発展の実現を目指しています。 今後もグループー丸となって社会的課題に向き合いながら、事業を通して課題解決に臨み、社会への貢献を果たしてまいります。

世界中にあらゆる
人が活きるカタチを
創造することで、
人々の幸せと社会の
持続的発展を実現する



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

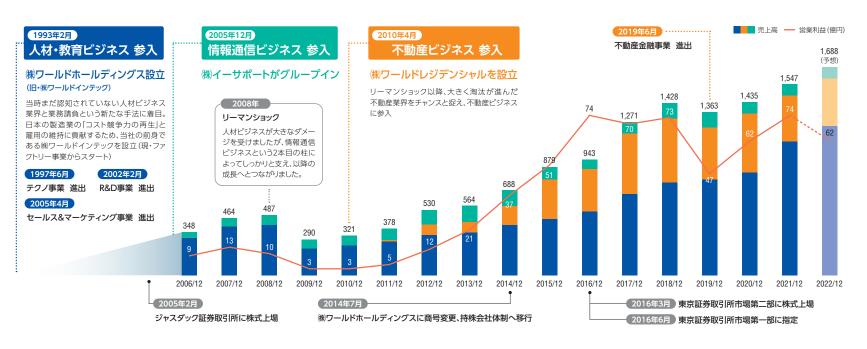
不動産農業公園	環境に配慮した暮らしやすい住設備を整え、 人々が安心して生活できるまちづくりを進める	11 EARHORS
不動産農業公園	自然を守り、地球資源を大切にし、 子供たちが健やかに成長できる環境を保つ	環 境 15 kashas 4
人材 教育	あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、 安定した生活基盤の構築を進めることで貧困をなくす	1 *#
人材教育	人材育成・質の高い教育を行うことで、 あらゆる人の潜在能力を開花させる	4 RAGE
人材 教育	ジェンダーに関わらず、あらゆる人が活躍できる 働ける場所の提供を進める	5 \$225 ⁻⁸⁸⁶ ● ************************************
人材教育	あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、働く喜びを感じられる環境を創り、 潜在能力を引き出すことで経済成長につなげる	8 BESILLE
人材 教育 通信	ものづくり産業を下支えるとともに、 新たなインフラの普及により技術革新の基盤をつくる	9 ## (1988)
人材 教育 不動産 情報 通信	多種多様な業界との連携や、コンソーシアムモデル等を駆使し 社会の持続的成長につなげる	17 //m/st-d-y/2 BB###################################
ガバナンスの強化	公正・透明・迅速なグループ全体のガバナンス強化・推進 コンプライアンスの徹底/リスクマネジメントの強化	ガバナンス

主なあゆみ

安定経営・バランス経営の原点は、 当社代表取締役会長兼社長の伊井 田栄吉が1981年に総合不動産会 社 みくに産業㈱(現・㈱ミクニ) を創業した時代にまで遡ります。 不動産バブルの崩壊により、多く の同業他社が疲弊する姿を目の当 たりにしたことで複数の柱による 安定経営・バランス経営の重要性 を認識。その後の複数ビジネスへ の参入につながっていきます。

人が活きる

カタチ



主な関係会社38社〈連結子会社34社・非連結子会社4社〉

人材・教育ビジネス

プールドインテック

愛 ワールドスタッフィンク"

び ワールドコンストラクション

DOT ワールド

ぴ JWソリューショフ

TOHOWORLD

WORLD INTEC AMERICA

● 台灣英特科

EngmaIntec



VIKKEN

~新しい"働く"カタチ~

ぴ ワールドシステムサービス

CreationViewCo.,Ltd.



人 Advan 株式会社アドバン



(2021年12月末現在)

人と住まいをつなぐ ~新しい"まちづくり"のカタチ~

ぴ ワールドレジデンシャル

び エムズワールド

ジワールドアイシティ

ぴ オオマチワ−ルド

び ワールドウィステリアホームズ

び ニチモリアルエステート

び コンパックス

WORLD DEVELOPMENT INDONESIA

MIKUI

ぴ ワールドミクニ

情報通信ビジネス

IT で人と人をつなぐ ~新しい"コミュニケーション"のカタチ~

0 <u>e-suddo</u>art



(NIETWORK SOLUTION)

農業公園ビジネス

ぴ ワールドインテック



金融関連

🍑 ワールドアセットマネジメント 🔮 みらい債権回収



ワールドキャピタルソリューション



会社概要 (2021)

(2021年12月末現在)

代表 者 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉

社	名	株式会社ワールドホールディングス
設	<u> </u>	1993年2月12日
資本	金	1,250百万円

従業員数 26,701名(連結)

【福岡本社】

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル6F TEL、092(474)0555 FAX、092(474)0777

【北九州本社】

住 所 〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町11-2 TEL. 093(581)0540 FAX. 093(581)0542

【東京本部】

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1 NBFコモディオ汐留4F TEL. 03 (3433) 6005 FAX. 03 (3433) 6003

持株会社・グループ全体の経営方針策定及び経営管理等 事業内容 グループ全体の事業(人材・教育ビジネス、不動産ビジネス、

情報通信ビジネス、その他事業)

川本 惣一

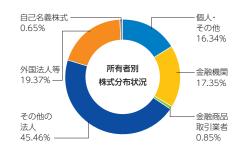
役 員 (2022年3月18日現在)

代表取締役会長兼社長	伊井田 栄吉	取締役(独立社外)	長谷川 裕一
取締役	岩﨑 亨	取締役(独立社外)	貫 正義
取締役	中野 繁	取締役(独立社外)	五十嵐 伸吾
取締役	湯川均	取締役(独立社外)	竹村 滋幸
取締役	本多 信二	取締役(独立社外)	小野 和美
取締役	栗山 勝宏	監査役(常勤)	山村 和幸
取締役	塩見 政明	監査役(社外)	古賀 光雄
取締役	菅野 利彦	監査役(社外)	加藤 哲夫
取締役(社外)	白川 祐治		

株式の状況

(2021年12月末現在)

発行可能株式総数 …………54,000,000株発行済株式の総数 …………17,575,900株株主数 …………2,924名



大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
みらい総研株式会社	7,965,000	45.62%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,023,500	5.86%
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS 常任代理人 香港上海銀行東京支店	800,000	4.58%
株式会社北九州銀行 常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	709,200	4.06%
安部 南鎬	500,000	2.86%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	498,000	2.85%
伊井田 栄吉	496,500	2.84%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	449,880	2.57%
株式会社西日本シティ銀行	300,000	1.71%
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	180,300	1.03%

※持株比率は自己株式(113,573株)を控除して計算しております。

株主メモ

事	業	年	度	毎年1月1日~12月31日	
定	時 株	主 総	会	毎年3月	
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関				三菱UFJ信託銀行株式会社	
同	連	絡	先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 お問い合わせ先 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
公	告	方	法	電子公告により、当社ホームページ (https://world-hd.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	



取締役(社外)



